

耳の不自由な方に避難を呼び掛ける『防災サイン』

千代川流域圏会議では、「水害から被害者をなくす」ためのソフト的な対策の一環として、耳の不自由な方に緊急時の避難を呼び掛ける『防災サイン』の普及に取り組んでいます。

千代川流域圏会議は、河川改修や水辺空間の整備など、河川事業への理解の促進や地域と行政の連携を図るため、平成9年に設立されました。

同会議では、毎年、各種イベント(千代川フェスティバル、流域一斉水質調査、源流探検)を開催するとともに、千代川ニュースを発行するなど、河川環境にまつわる様々な活動を行っています。

また、平成25年に全国に先駆けて「鳥取県手話言語条例」が制定されたことを受けて、平成26年から公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会や地域の手話サークル等の協力を得て、耳の不自由な方に水害発生時の避難を呼び掛ける「防災サイン」の作成に取り組んできました。

〈これまでの取組〉

〈手話サークルからの意見聴取〉



〈地域の方への説明〉



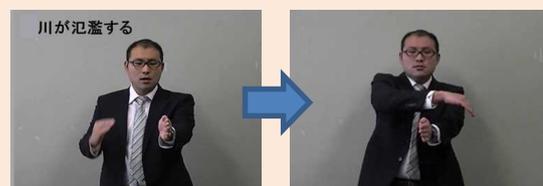
〈防災サインの一例〉 …全てのサインは裏面をご覧ください。

《避難所に逃げろ(避難所+逃げろ)》



避難所の方向を指差して「ひなんじょ」と言う + 走るイメージ (両腕を前後に早く動かす)

《川が氾濫する(浸水する)》



堤防(左手)を川水(右手)が越えるイメージ (左手を立てたまま、右手を覆うように動かす)

千代川流域圏会議事務局

国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所河川管理課
〒680-0803 鳥取市田園町4丁目 400 番地
TEL.0857-22-8435 FAX.0857-29-1859

《防災サインの問い合わせ先》

鳥取県県土整備部河川課
〒680-8570 鳥取市東町1丁目 220 番地
TEL.0857-26-7694 FAX.0857-26-8132